

編集: 日本弁護士連合会
国際室

No. 28

(主な内容)

- ・香港リーガルイヤー・オープニング式典に日弁連から参加して
- ・ロシア連邦弁護士連合会との交流
- ・海外ロースクール推薦留学制度 応募受付中!
- ・ご案内「国際分野のスペシャリストを目指す法律家のためのセミナー」
- ・POLA東京大会開催のご案内

香港リーガルイヤー・オープニング式典参加 インターンシップ制度の覚書に署名

2013年1月14日に香港市庁舎で開かれた香港リーガルイヤー・オープニング式典に小川恭子日弁連副会長(当時)が参加しました。

香港リーガルイヤー・オープニング式典は、裁判所の開所を祝って、毎年香港の最高裁判所主催で行われるもので、海外の多数の弁護士会が式典に招待されます。式典はまず、市庁舎前広場での音楽隊パレードと閱兵式から始まり、その後、最高裁判所長官、司法長官、香港大律師公會(バリスターからなる弁護士会)議長、香港法律會(ソリシターからなる弁護士会)会長がそれぞれ15分程度の演説を行ないました。

香港の人々は本式典に大きな関心を持っているよう、式典の様子はテレビで生中継されるだけでなく、その日のニュースで繰り返し放送されていました。

香港法律會会長のYih氏の演説の中では、香港では法律の専門家がソリシターとバリスターに分かれており、ソリシターは中国語で法律と呼ばれ、バ

リスターは大法律と呼ばれることが指摘され、このような名称では、バリスターがソリシターより「大きい」法律家という誤った印象を与えてしまうため、バリスターの中国語の名称をシニアソリシターという意味を持つような語にすべきと思うと述べました。かつての統治国イギリスの2つの弁護士制度を引き継いだ香港に存在する緊張関係が垣間見えた気がしました。

式典後には裁判所主催のカクテル歓迎会が開かれ、伝統的なローブとかつらをまとった裁判官らが、国内外からのゲストを歓迎していました。

リーガルイヤー・オープニング式典に先立って、会長円卓会議が開かれ、同会議の終了直後には、日弁連と香港法律會との間で、インターンシップ制度に関するパイロットプログラムの協定が交わされました。同プログラムは、弁護士登録年数3年以上10年未満の弁護士を対象に、相互の国のホスト



Diter Yih香港法律會会長(左)と小川恭子前副会長

事務所において、2週間の研修を行うインターンを募集するもので、相互の理解と関係の強化を目的としています。

小川副会長が、「日弁連は、若手弁護士への支援を重大な役割と認識しており、現代の国際社会において、外国の法曹との間の相互理解の重要性は増している」とのスピーチを行ったあと、香港法律會のYih会長とともに、覚書に署名しました。同パイロットプログラムは、今年の秋からの実施を予定しています。

(国際室嘱託 竹内 千春)

ロシア連邦弁護士連合会との交流 国際室嘱託 竹内 千春

4月16日に、ロシア連邦弁護士連合会会長のセメンヤコ氏始め5名の同会役員一行が日弁連を表敬訪問され、日弁連からは、山岸憲司会長以下、執行部、国際交流委員会委員長、国際室室長らが対応しました。

意見交換会では、ロシア国内には弁護士資格を要するアドヴォカートと資格なしに法律事務を扱うユーリストの2種類の法律実務家が存在することからいくつかの問題が顕在化しており、司法・弁護士制度の改革がロシアの当面の課題であるとの説明がありました。

セメンヤコ会長から、近い将来日弁連との間で友好協定を締結したいとの意向が示されました。

の背景には、両会がここ数年着実に交流を深めていることに加え、日本の司法・弁護士制度の理解を深め、自国の制度改革の参考にしたいとの希望があるものと思われます。

友好協定の申し出に対し、山岸会長からは、同協定締結に向けて前向きに検討したい旨の回答がなされました。

一方、5月15日から17日まで、サンクトペテルブルクにおいてロシア連邦法務省主催の国際法律フォーラムが開催され、日弁連からは山岸良太副会長が参加し、コノヴァロフ法務大臣との面談も行われました。

今年で3回目を迎える同フォーラムでは、メドベージエフ首相らによる基調講演が行われ、世界各国から約2000名に及ぶ法曹が集まり、様々な法分野について活発な議論を行いました。日弁連からは、国際法曹協会(IBA)前会長の川村明会員も参加し、「現在日本では隣国の軍事力行使の脅威にどう対応すべきかを実質的な争点とする憲法改正が議論されているが、法の支配の原則に沿って解決されなければならない。」と主張しました。



エフゲニー・セメンヤコロシア連邦弁護士連合会会長(左)と山岸憲司会長

海外ロースクール推薦 留学制度 応募受付中!

締切は8月31日です

日弁連は、アメリカのニューヨーク大学、カリフォルニア大学バークレー校、イリノイ大学、イギリスのエセ克斯大学との間で、日弁連が推薦する会員を客員研究員・(エセックス大学のみ)LLMコース留学生として受け入れていただく制度を設けており、毎年、公益的な活動に取り組んでいる会員を派遣しています。

活動分野について更に研究を深めるとともに、あなたの経験を海外で発信するチャンスです。あなたもチャレンジしてみませんか?

2014年度留学生の応募は、2013年8月31日が締切です。選考は、ご提出いただく書類と、10月上旬(予定)に行われる面接により行います。

詳細 詳しい応募方法・提出書類の雑型は会員用HPに掲載しています。沢山の御応募をお待ちしています。

お問い合わせは日弁連事務局国際課まで。(電話03-3580-9741)

国際分野のスペシャリストを目指す法律家のためのセミナー

開催のご案内

日時: 2013年8月30日(金)~31日(土)
会場: 弁護士会館2階 講堂「クレオ」

本セミナーは、2009年以来毎年8月に開催されている、国際分野での活躍を目指す法曹のための2日間にわたるセミナーです。一人でも多くの法曹が国際分野への関心を持ち、国際的な舞台で活躍することができるよう、国際機関、途上国支援、国際法曹団体、国際関係委員会、インハウス等、法曹が活躍できる様々な国際司法分野を紹介するとともに、実際に第一線で活躍されている方々の実体験や、求められる人材像についてお話をいただきます。国際人道活動から国際的な企業法務まで、参加者それぞれが今後目指していく活動に応じて、国際分野で活躍するプランを設計するための講義です。

詳細 日弁連HPを御参照ください。

(<http://www.nichibenren.or.jp/event/year/2013/130830.html>)

POLA東京大会

開催のご案内

6月10~12日に、当連合会の主催で、アジア太平洋地域の弁護士会会長が一堂に会するアジア弁護士会会長会議(POLA)が開催されます。

原則非公開の会議ですが、今大会は、会員及びメディアに対し、開会式・閉会式及び一部のセッション(「アジア域内での中小企業における域外活動の促進」)が公開されます。開会式では、アジア開発銀行総裁の中尾武彦氏に、「Economic Development in Asia and Rule of Law」のテーマでご講演頂きます。

詳細 日弁連会員用HPを御覧下さい。